

## 第2 審査報告

### 1 提案募集・選考経過

#### (1) 説明会及び相談会

制度や募集内容、共働の意義等についての説明会と共働事業についての自由な相談会を行った。

開催日時 平成24年4月27日(金) 14:00～17:30  
会 場 福岡市健康づくりセンター(あいれふ)

#### (2) 共働事業提案の募集

##### 募集期間

平成24年4月27日(金)～5月31日(木): 概要版受付  
平成24年5月31日(木)～7月9日(月): 本提案受付

##### 合同面談会

1回目: 平成24年6月14日(木) 14:00～16:30  
2回目: 平成24年6月20日(水) 14:00～16:30  
会場はいずれも福岡市健康づくりセンター(あいれふ)

24年度の提案募集に対して提案概要版15件が提案された。提案概要版を提出したNPOと、その提案内容に関連する市の担当課とが意見交換をする場を設け、NPOが解決を目指す課題や、市と共働して取り組みたい事業内容、またその課題に対して市が認識している市民ニーズや市が実施している事業などについて、意見交換が行われた。

NPOは必要に応じその後も市担当課と意見交換を行い、さらに提案内容について具体的に検討し、最終的に11件が正式な提案として提出された。

提案種類	提案概要 提出	本提案 提出	資格要件 適合
テーマ・ジャンルを問わない 自由提案	12事業	8事業	8事業
市が共働を希望する課題 (1事業)への提案	3事業	3事業	3事業
合 計	15事業	11事業	11事業

(3) 第1回審査委員会(第1次審査)

第1次審査は資格要件適合の11事業の提案について書面審査を行い、5事業を選考した。

開催日時 平成24年8月27日(月)15:00~16:30  
会場 福岡市役所15階 第4特別会議室

提案種類	通過事業数
テーマ・ジャンルを問わない自由提案	3事業
市が共働を希望する課題(1事業)への提案	2事業
合計	5事業

(4) 提案団体と市担当課の協議

第1次審査を通過した5事業の提案団体と市担当課による面談会が8月末から9月初旬にかけて実施され、企画内容の協議や、情報交換が行われた。

(5) 第2回審査委員会(公開プレゼンテーション・最終審査)

第1次審査を通過した5事業について、提案団体によるプレゼンテーションの後、引き続き最終審査を行い、4事業を選考した。

開催日時 平成24年9月27日(木)13:30~17:30  
会場 福岡市健康づくりセンター(あいれふ)

提案種類	通過事業数
テーマ・ジャンルを問わない自由提案	3事業
市が共働を希望する課題(1事業)への提案	1事業
合計	4事業

(6) 審査結果総括(最終)

区分	提案概要版提出	本提案提出	資格要件適合	第1次審査通過	採択事業数
自由提案	12事業	8事業	8事業	3事業	3事業
市の課題への提案	3事業	3事業	3事業	2事業	1事業
合計	15事業	11事業	11事業	5事業	4事業

## 2 本提案応募状況（資格要件適合）

	事業名	提案団体名
市が提示した課題	子供と保護者の安全教室及び乗り方教室	福岡市サイクリング連合
	子どもから考える自転車問題	NPO法人男女・子育て環境改善研究所 サイクルライフ FUKUOKA
	自転車走行マナー改善と魅力ある街づくり提案事業	ツール・ド・フクオカ実行委員会
テーマ・ジャンルを問わない自由提案	独居の高齢者の見守りと買い物支援事業	一般社団法人視覚障害者自立支援協会
	「ふれあい ひろば」事業	NPO法人Wall Less Japan
	おうちで暮らそうプロジェクト - 障がい児・者と介護者の在宅移行・在宅生活充実をめざして	ニコちゃんの会
	子どもの自殺予防サポーター養成事業	NPO法人ライフサポート・アムリール
	チャットシステムを利用した「気軽におしゃべり」事業	NPO法人心の卵
	路上音楽ライブの適正化を目指した音楽ライブスペースの地域への拡大事業	NPO法人博多音楽振興会
	来街者に対しての福岡市内の“夜”の観光資源の魅力強化	NPO法人アイデア九州・アジア
	「新しい価値を生み出すクリエイター」育成プログラムの開発・実施事業	NPO法人ドネルモ

### 3 最終審査通過事業（概要と選定理由）

事業予定額は、提案団体と市担当課の協議結果として審査委員会（最終審査）に提出されたものであり、今後の事業化の検討や市議会の予算審議を経て正式に決定されます。

No.1

事業名	自転車走行マナー改善と魅力ある街づくり提案事業		
提案団体	ツール・ド・フクオカ実行委員会	事業予定額	3,800,000円
市担当課	市民局生活安全課		
事業目的及び概要	<p>（目的） 自転車利用者にルールとマナーを守り安全に利用する知識・態度を身につけさせるとともに、広く市民に安全利用を訴える。また、関係者の連携を促進し、自転車走行マナー啓発事業の継続的・効果的な推進体制を確立する。</p> <p>（事業内容） 自転車プロ選手等を指導者とし、楽しめ、役に立つ、実践的な「自転車教室」を開催。ユーモアのある自転車マナー冊子を作成、配布。自転車を安全に楽しく活用できる街づくりをテーマに、サイクルフォーラム等を開催し、WEB等を通じて情報発信する。</p>		
選定理由	<p>自転車利用者の交通ルール遵守やマナー向上のために、地域、高校生、企業経営者、自転車店等、対象層に合わせた自転車教室が企画されており、周知方法も具体的で効果が期待できます。</p> <p>”楽しめる、役に立つ”直接的で新しい切り口での提案であり、課題解決のアイデアや手法も優れていると評価できます。事業を実施するに当たっては、NPOと市双方が互いの資源やノウハウなどを生かしながら事業実現に向けて積極的に関わり、自転車利用のマナーアップや啓発効果をさらに高める事業となることを期待します。</p>		

No.2

事業名	高齢者の買い物支援とあんしん電話事業		
提案団体	一般社団法人視覚障害者自立支援協会	事業予定額	2,347,000円
市担当課	保健福祉局地域福祉課		
事業目的及び概要	<p>（目的） 単身など的高齢者が楽しく安心して暮らせることを目的に、見守りサービスを付加した「買い物支援」と「あんしん電話」事業に取り組む。</p> <p>（概要） 「買い物支援」...高齢者に優しい電話発注により自宅に食材や弁当を届ける宅配事業を行うなかで、希望者へは手渡し等での安否確認を無料で行う見守りサービスを行う。 「あんしん電話」...傾聴トレーニングを行った視覚障がい者による電話による有料の話し相手サービス。高齢者と障がい者がWinWinの関係を構築する。</p>		
選定理由	<p>一人暮らしの高齢者への支援と、視覚障がい者をオペレーターとして起用し電話でのサービスを行うという多岐に渡る課題解決を目指しており、今日的な課題を的確に捉え、実現性、モデル性が高い事業であると評価できます。市との共働きの必要性も明確であると思われます。事業の実施に当たっては高齢者の多い集合住宅などの居住者へも展開できる取り組みとなることを期待します。</p> <p>また、事業の実現にあたっては、市の役割も非常に重要であると思われます。事業の実現性を高め、さらに全市に展開していくには、各種団体や住民との信頼感の構築が重要であり、NPOと共に市も積極的に関わり工夫しながら取り組んでいただくことを期待します。</p>		

## No.3

事業名	おうちで暮らそうプロジェクト - 障がい児・者と介護者の在宅移行・在宅生活充実をめざして -		
提案団体	ニコちゃんの会	事業予定額	4,629,000円
市担当課	保健福祉局障がい者在宅支援課		
事業目的 及び概要	<p>(目的) 障がい児・者が病院から在宅に戻り、安心して在宅生活を送ることを目的に、在宅移行の支援と医療型短期入所施設の拡大を目指す。</p> <p>(事業内容) 現在障がい児・者を対象としていない医療機関へのアンケートや試験運用による医療型短期入所施設の拡大や、家族、地域連携室等へのアンケートをもとに在宅移行に必要な支援やケアをまとめ、実践する。また、在宅生活に役立つ支援と相談内容のデータベースをまとめたパーソナルブックを作成する。</p>		
選定理由	<p>障がい児・者が病院から在宅に戻り、安心して在宅生活を送れることを目的とした提案は、非常に重要な課題に着目した提案であり、市との共働をきっかけに今後の展開が期待されるモデル事業としても相応しいと評価できます。</p> <p>市単独ではできないことをNPOのノウハウ・スキル・情報で解決する共働事業としてふさわしい事業であり、市が積極的に関わることで県及び国へ広がる取り組みとなることを期待します。特に医療的ケアが必要な障がい児・者が短期間入所できる医療型短期入所施設の拡充については、難しい課題への取り組みであり、市の関わり方も非常に重要であることから、NPOと市が双方の役割をしっかりと果たし、事業が実現することを大いに期待します。</p>		

## No.4

事業名	市民参加型・来街者向け福岡市内“夜”の観光資源の魅力強化事業		
提案団体	NPO法人アイデア九州・アジア	事業予定額	3,820,000円
市担当課	経済観光文化局観光戦略課		
事業目的 及び概要	<p>(目的) 福岡市への宿泊者の増加や地域経済への波及を目的に、来街者に対し、屋台を中心とした福岡市内の夜の観光資源の充実を図る。</p> <p>(事業内容) 市民参加による夜の観光ガイドの育成や街歩きツアー等を実施する。また、屋台事業者と連携した「福岡屋台もてなしプロジェクト」による屋台のイメージ・魅力アップへの取り組みを実施、更に魅力発信や屋台利用者による屋台の評価ができるWEBサイトを構築・運営する。</p>		
選定理由	<p>夜の観光資源の魅力強化という行政が取り組みにくいテーマに対して、NPOの経験や実績を生かして提案がなされており、福岡・博多の貴重な資源である屋台を活かした企画は独自性があり実現性も評価できます。屋台事業主と連携した事業や利用者が屋台を評価するWEBサイトの構築・運営等は、市単独では進めにくいと思われるのでNPOと共働しての取り組みに期待が持てます。</p> <p>一方で、市民参加型の夜の観光ガイド育成、街歩きツアー・体験プログラムや、屋台事業主と連携した「福岡屋台もてなしプロジェクト」いずれも双方向のコミュニケーション手法によるものであるため、どの程度の成果が得られるのかはやや見えにくい部分もあります。特に、屋台の魅力強化については屋台事業主の経営方針にも関わる話であり、全体の意識改革へのハードルは高いと思われるのですが、市が本事業に積極的に関わり、屋台営業の適正化に向けた市の指導や環境整備とうまく調整をしながら事業に取り組みれることを期待します。</p>		